

社協 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

平成30年9月15日 No.66

編集・発行



那加三地区
社会福祉協議会

「向こう三軒両隣の輪」を広げよう！

—— 近隣ケアグループ研修会を開催 ——



社協会費が
使われています



1.代表者懇談会 (5/15) 出席者40名

那加三地区27の近隣ケアグループ代表者が一堂に会して、よりよい活動にするための情報交流を行いました。

- ①代表者のグループ員の選出方法
- ②選出にかかわる問題点
- ③代表者やグループ員の引き継ぎ状況
- ④自治会との連携状況
- ⑤活動内容や方法の工夫
- ⑥自治会からの助成状況

自治会に入っていない人への働きかけが困難であったり、個人情報の問題で情報が得られない等の悩みが出されました。民生委員や自治会長と情報を交流しあうなど、近隣だからこそできるつながりを大切にしていくことを共通認識しました。



2.第一回研修会 (6/15) 出席者108名

近隣ケアグループ員、自治会長、民生・児童委員が出席して開催しました。まず市社協、地域福祉課の高木一主任主査からお話を聞きました。社会福祉協議会と近隣ケアグループの役割について、具体事例をあげながら教えていただきました。近隣ケアグループの役割は「声かけ・知らせる・見まもる・つなげる」ことです。年々高まっている高齢化の中で、近隣ケアグループの存在は益々大切になっていることを認識しました。



高齢化率・5年間の変化 H30.4.1現在

	H.30	H.29	H.28	H.27	H.26
那加三地区	26.8%	26.8%	26.4%	26.1%	25.3%
各務原市	27.4%	26.9%	26.5%	25.7%	24.8%

次に、地域包括支援センターから高齢者の生活に関するお困りごとを「お気軽にご相談ください」と呼びかけがありました。

各務原市地域包括支援センター 社会福祉協議会

〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地
☎058-383-7624

近隣ケアグループ研修会アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。一部抜粋させていただきます。

アンケート回収数 ■自治会長10通 (回収率62.5%) ■近隣ケア64通 (回収率98.5%)

1 研修の内容について

	自治会長		近隣ケアG		計	
	件数	構成%	件数	構成%	件数	構成%
よくわかった	2	20	19	30	21	28
ほぼわかった	8	80	40	62	48	65
わかりにくかった			3	5	3	4
記載なし			2	3	2	3
計	10	100	64	100	74	100

2 研修に参加して感じたこと

- 高齢化社会の宿命ですから皆で見守らなければいけない。
- 八木山地区等、私にとってはレベルを越えた活動に大変驚いた。
- いろいろな活動があり皆さんが参加されていることが分かった。
- それぞれの人が近所の人を少しでも気にかけることができるとよいと思う。
- 皆さんが熱心に活動していらっしゃる事が素晴らしい。私は1年生ですがこれから努力したい。
- グループ活動の紹介や事例等を多く聞かせてもらえると分かり易いと思う。
- 私の地域は毎年役員が代わるので問題をつなげられていないように思う。
- 包括支援センターのことも初めて知り、どんなことをやられているかよく分かった。

・・・校区の皆様へ・・・

わが校の福祉教育

福祉感覚の向上は地域のおかげ



那加中学校 校長 村井 俊之

本校では、学年進行を考えてそれぞれの学年で福祉に関わる学習や活動を行っています。しかしながら、この活動は、各校区の社会福祉協議会の皆様による様々なご尽力をいただき行わせていただいているものです。特に2年生では、那加三校区のいくつかの福祉事業所等にいかせていただき、貴重な体験をさせていただきます。昨年度、活動に参加した生徒の事後の感想に次のようなことが書かれていました。

「私にとって、デーサービスを行っている場所は、全く縁もゆかりもないところでした。だから、今までは、興味もなかったし、ただ通り過ぎるだけでした。しかし、福祉体験で実際に見たり体験したりして、人は関わって初めてその人の良さや温かさがわかると思いました。私は、将来デーサービスの介護の仕事をしよと思う始めました。」

作文からもわかるように2年生は、活動前と後では、大きな成長をして、たくましさや優しさがさらに増幅していることを実感いたします。福祉ということは、簡単なものではありません。そこには、活動する一人一人の思いやりが加わってこそ、相手に喜んでいただける活動になると思っております。

本校では、社会福祉協議会の皆様方を始めとする多くの方々への支援やご助言をいただき、地域の中で頑張る生徒を育てていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

地域とともに やさしさ たくましさを



那加第三小学校 校長 横山 貴雅

1学期、福祉に関しては、ボランティア手帳の活用を継続するとともに、社会福祉協議会のご指導・ご支援を受け、様々な取組をしてきました。視覚障がいもち盲導犬とともに暮らしていらっしゃる方のお話を聞く機会をもちました。地域の高齢者宛ての暑中見舞い葉書の作成をしました。地域の方との共同作業による花壇づくりや地域清掃に取り組みました。

本校で大切にしていきたいこととして、次の3点を保護者や地域の方にお伝えしています。(1) 那加三小や那加三という地域に愛着をもち、学校や地域のためにがんばろうとする子どもになってほしい。そのためにまず、「あいさつ」と「ボランティア」に力を入れて取り組みます。(2) 「当たり前のことに誠実にとりくむ姿」を応援したい。目立たないけれどしっかりと約束を守って行動する子、仲間のために一生懸命協力する子、決められた仕事に責任をもって取り組む子こそ那加三の宝です。(3) 自分たちで(自分で)考えて、よりよく学んだり生活したり、困難にぶつかっても乗り越えていける子に育ててほしい。

これからも、皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。



ボランティアハウス懇談会

(5/22 出席者31名)

那加三地区9つのボランティアハウス運営者による懇談会が実施されました。それぞれの運営者から、活動の工夫、ボランティアの確保、活動費不足への対応などについての現状が語られました。参加者に楽しんでもらうための様々な努力がなされていることがわかりました。今年もお互いのハウスを見学し参考にしようという提案がなされました。



暑中見舞いはがき

～心を込めて書きました～

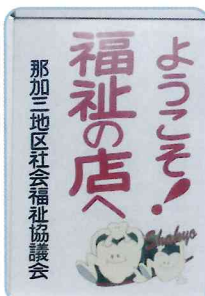
猛暑が続く夏、今年も那加第三小学校の6年生の皆さんが、119名のお年寄りに238枚の「暑中見舞いはがき」を書いてくれました。やさしい心をありがとうございました。



第23回 夏祭り盆踊り大会 (8/4)



エンジェルハウス	8,600円
あしたの会 共働学校	35,000円
虹の家・友愛の家他	15,850円
星の村	10,600円
合計	70,050円



那加第三自治会連合会主催の夏祭り盆踊り大会に、那加三地区社協も「福祉の店」を出店しました。

校区の皆様のご協力ありがとうございました。売上金は左記の授産施設へお届けしました。

